

山形・シェルターの
優先株式引き受け

政投銀、200万円

日本政策投資銀行は15日、木造建築メーカーのシェルター(山形市、木村一義社長)が発行する2千万円の優先株式を引き受けたと発表した。

シェルターは1974(昭和49)年に設立。木質構造部材の加工・販売や木造建築を手掛ける。接合金物で柱と梁(はり)などをつなぐ「KES構法」や、2時間耐火の国土交通大臣認定を取得した木質耐火部材「COOL WOOD(クールウッド)」を開発し、従来は鉄骨や鉄筋コンクリート造が一般的だった中高層建築を木造建築にすることを可能にした。

調達資金は「クールウッド」の性能を高度化させる研究開発に活用するほか、政投銀を通じた関連業者との連携強化に生かす。同社は今回の分を含めて総額4千万円を増資し、資本金を9千万円とした。

優先株式の引き受けは、経営革新などの取り組みが対象の「特定投資業務」として実施した。